

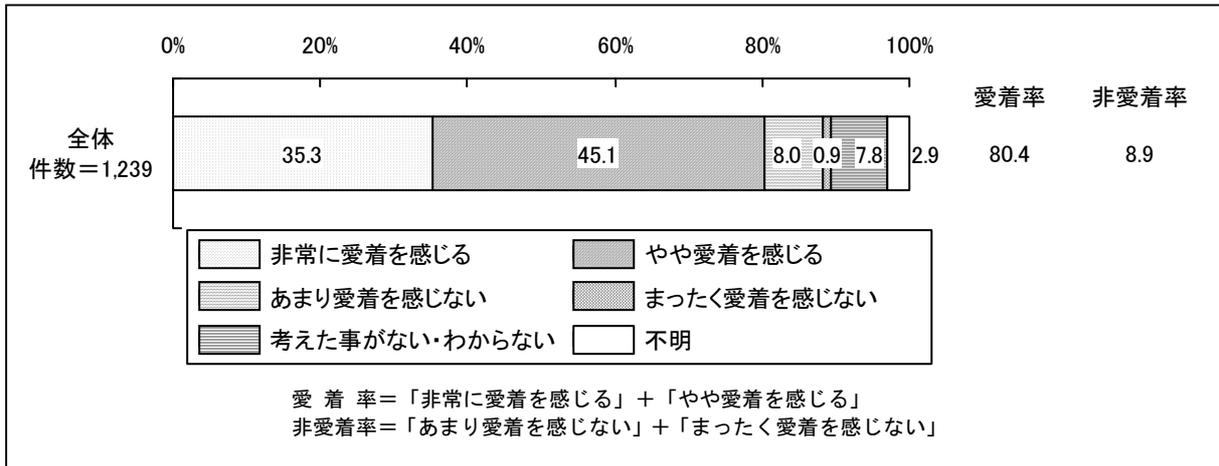
1 日常生活について

(1) 三島市に対する愛着

問1 あなたは、三島市に愛着を感じていますか。

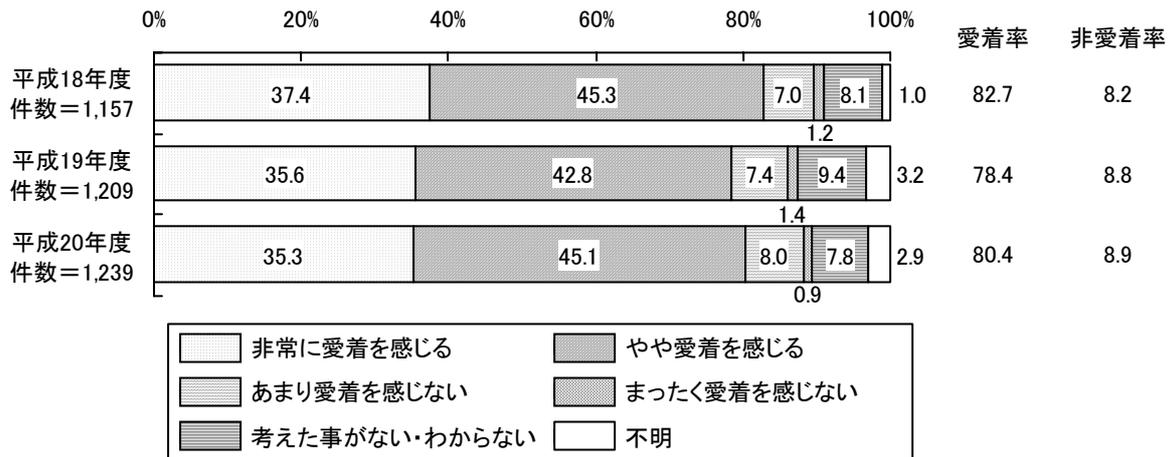
1つに〇

“愛着率”は80.4%



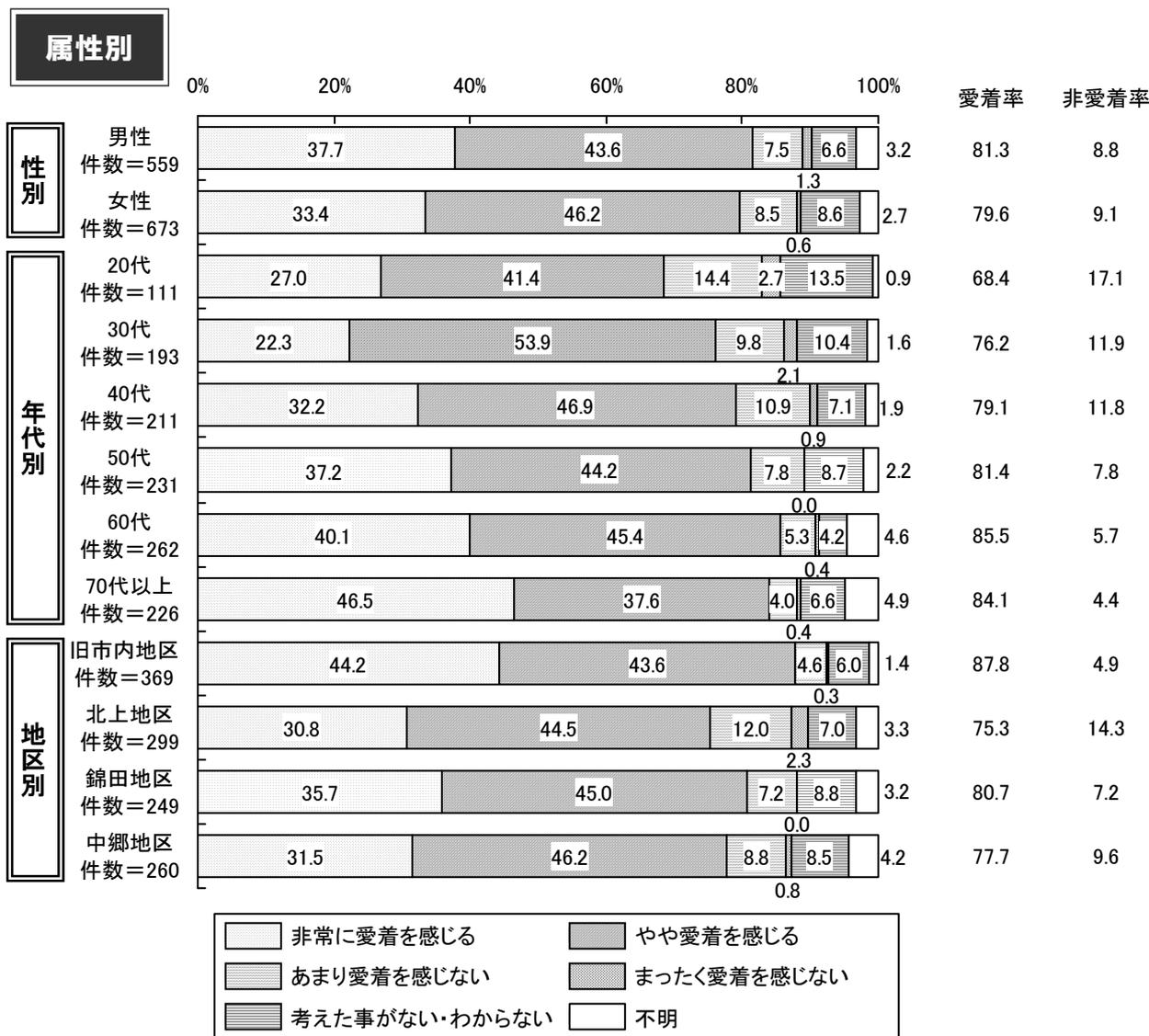
三島市に対して愛着を感じるか聞いたところ、「非常に愛着を感じる」(35.3%)と「やや愛着を感じる」(45.1%)を合わせた“愛着率”は80.4%、一方、「あまり愛着を感じない」(8.0%)と「まったく愛着を感じない」(0.9%)を合わせた“非愛着率”は8.9%であった。また、「考えた事がない・わからない」と7.8%が回答した。

時系列比較



“愛着率” (80.4%) は前回調査 (78.4%) に比べ増加し、平成18年度調査 (82.7%) と同じく8割以上を占めた。一方、“非愛着率” (8.9%) は、過去2年の調査結果 (平成18年度: 8.2%、平成19年度 8.8%) と大きな差はなく、今回調査でも1割以下となっている。

1 日常生活について



性別

“愛着率”（男性：81.3%、女性 79.6%）では、性別による大きな差は見られなかったものの、「非常に愛着を感じる」（男性 37.7%、女性 33.4%）では、男性が女性を 4.3 ポイント上回った。

年代別

“愛着率”は、60代（85.5%）、70代以上（84.1%）、50代（81.4%）で8割以上となった一方で、40代（79.1%）、30代（76.2%）では7割台、20代（68.4%）では7割以下であり、概ね年代が上がるほど高い傾向となっている。「非常に愛着を感じる」は、30代以上で年代が上がるほど割合が増えている（30代：22.3%、40代：32.2%、50代：37.2%、60代：40.1%、70代以上：46.5%）のに対し、20代（27.0%）が30代を上回っており、“愛着率”の傾向と比べて違いが見られた。

地区別

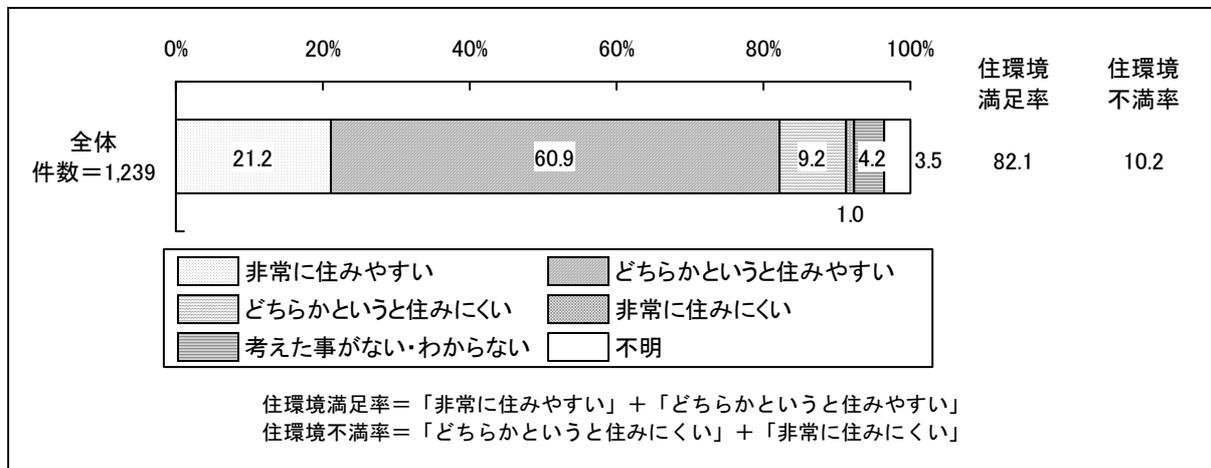
“愛着率”は旧市内地区（87.8%）で最も高く、次いで錦田地区（80.7%）、中郷地区（77.7%）、北上地区（75.3%）の順となっている。「非常に愛着を感じる」でも同様の傾向となっており、旧市内地区（44.2%）が4割以上であるのに対し、錦田地区（35.7%）、中郷地区（31.5%）、北上地区（30.8%）では3割台にとどまっている。

(2) 三島市の住みやすさ

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。

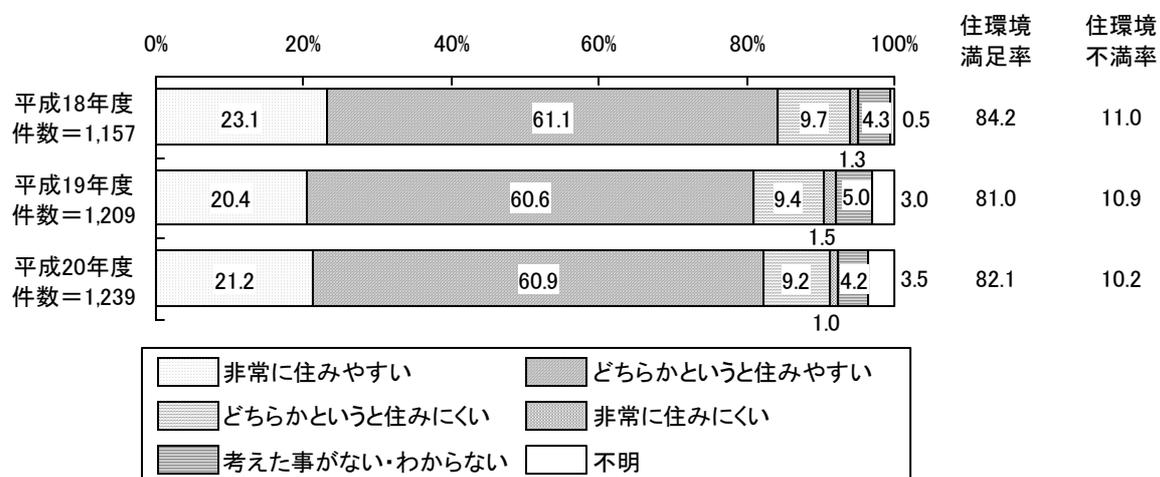
1つに〇

“住環境満足率”は82.1%

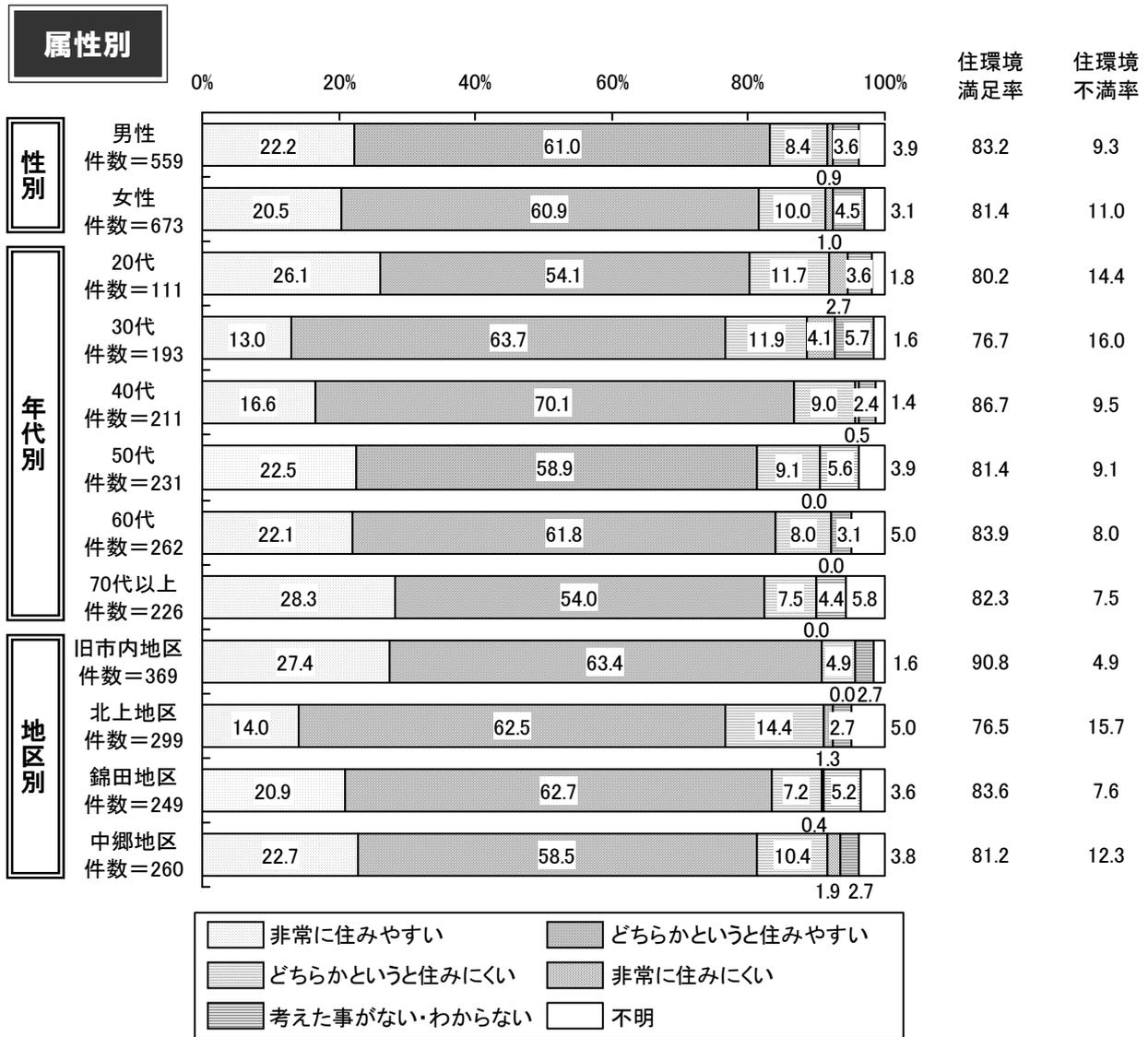


三島市が住みやすいかを聞いたところ、「非常に住みやすい」(21.2%)と「どちらかという住みやすい」(60.9%)を合わせた“住環境満足率”は82.1%であり、「どちらかという住みにくい」(9.2%)と「非常に住みにくい」(1.0%)を合わせた“住環境不満率”は10.2%であった。

時系列比較



“住環境満足率” (82.1%) は前回調査 (81.0%) に比べ増加し、平成18年度調査 (84.2%) 以降いずれの年度も8割以上となっている。一方、“住環境不満率” (10.2%) は前回調査 (10.9%) に比べ減少し、平成18年度調査 (11.0%) 以降わずかながら減少傾向にある。



性別

「住環境満足率」(男性：83.2%、女性：81.4%)で性別による大きな差は見られず、男女とも8割以上を占めた。

年代別

“住環境満足率”が40代(86.7%)、60代(83.9%)、70代以上(82.3%)、50代(81.4%)、20代(80.2%)でいずれも8割以上となった。一方、30代(76.7%)では7割台にとどまった。また、「非常に住みやすい」では50代以上と20代で2割を超えたものの(20代：26.1%、50代：22.5%、60代：22.1%、70代以上：28.3%)、30代から40代では1割台にとどまっている(30代：13.0%、40代：16.6%)。

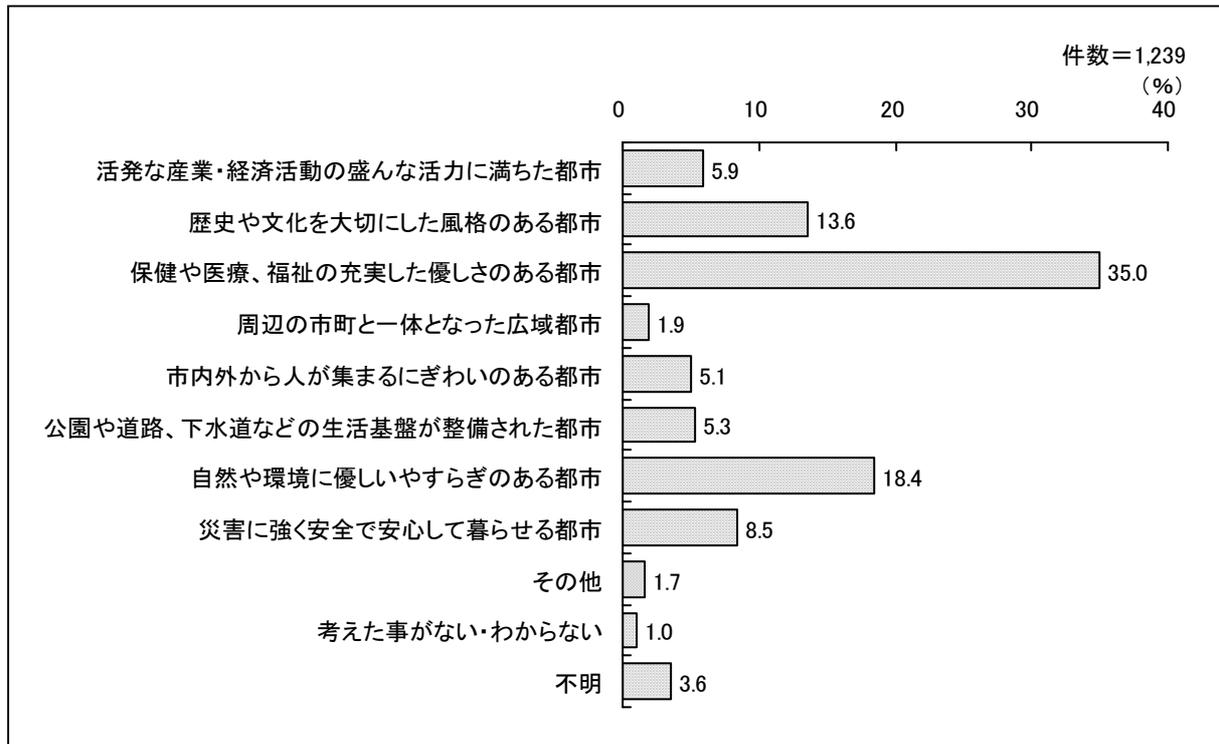
地区別

“住環境満足率”は、旧市内地区(90.8%)で最も高く9割を占め、錦田地区(83.6%)及び中郷地区(81.2%)で8割以上、北上地区(76.5%)で最も低い7割台であった。一方、“住環境不満率”では、北上地区(15.7%)及び中郷地区(12.3%)で1割以上となった。

(3) 三島市の将来像

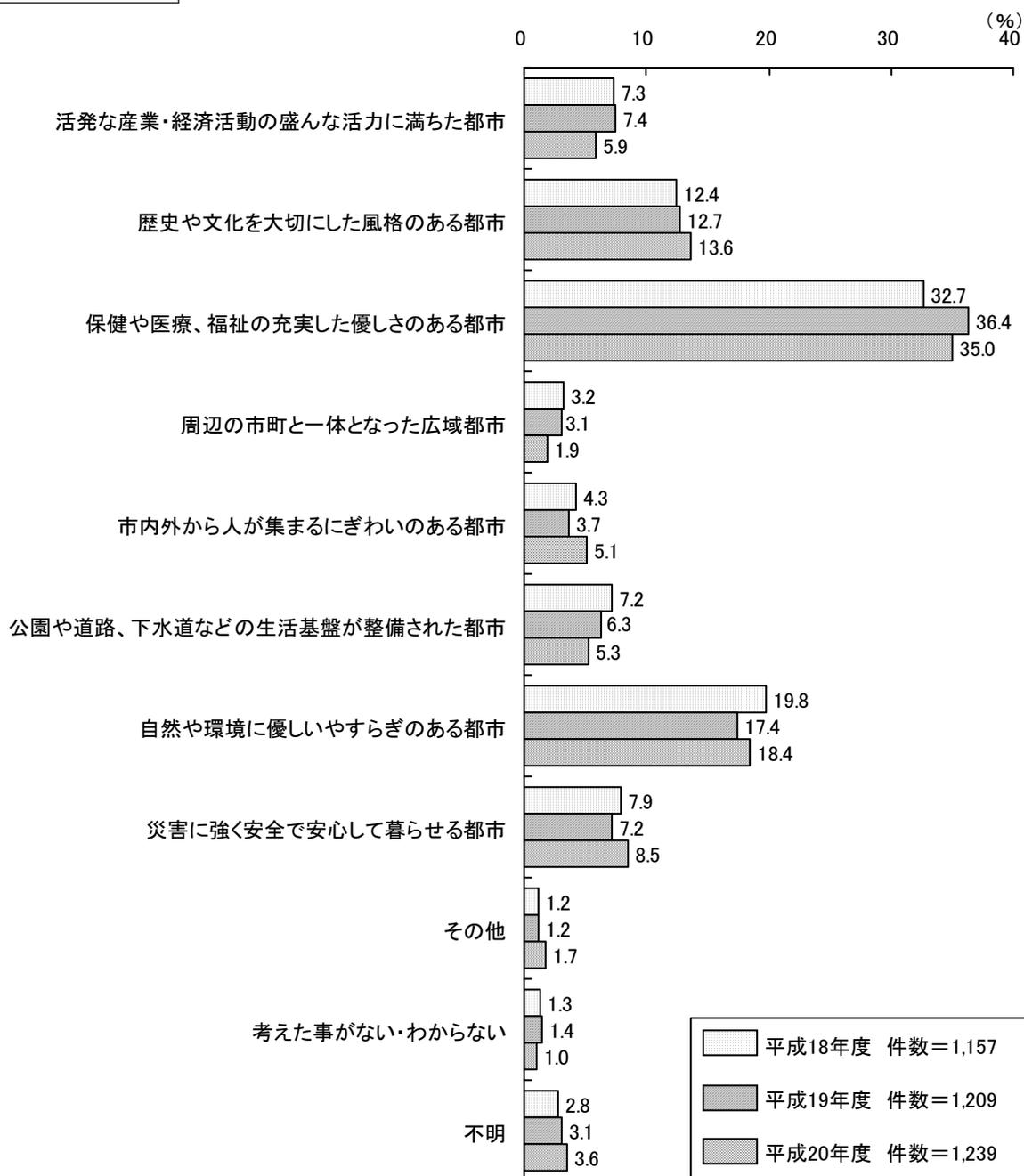
問3 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。 **1つに○**

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が35.0%と最多



三島市の将来像について聞いたところ、最も多かったのは「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」の35.0%であり、全体の3分の1以上であった。次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」が18.4%、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」が13.6%とこれらが1割以上の回答であった。一方、「周辺の市町と一体となった広域都市」(1.9%)への回答は最も少なかった。

時系列比較



いずれの年度も上位3項目は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」である。どの項目でも、平成18年度以降大きな変化は見られない。

属性別

単位：(%)

		件数	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	歴史や文化を大切にされた風格のある都市	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	周辺の市町と一体となった広域都市	市内外から人が集まるにぎわいのある都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	その他	考えた事がない・わからない	不明
性別	男性	559	6.8	16.1	29.5	3.4	5.7	6.4	18.1	7.3	1.8	1.3	3.6
	女性	673	5.2	11.6	39.7	0.7	4.5	4.5	18.4	9.4	1.6	0.9	3.6
年代別	20代	111	9.0	13.5	29.7	0.9	9.0	7.2	14.4	10.8	1.8	0.9	2.7
	30代	193	8.8	6.2	36.3	2.1	6.2	4.1	18.1	8.8	2.1	3.1	4.1
	40代	211	4.7	15.6	34.1	0.5	4.7	8.5	20.9	6.2	2.4	0.5	1.9
	50代	231	6.1	14.7	32.9	3.5	3.0	3.5	22.5	8.2	1.3	1.3	3.0
	60代	262	5.3	14.5	39.3	1.1	5.0	6.1	15.6	6.9	2.7	0.0	3.4
	70代以上	226	3.5	15.9	35.0	3.1	4.4	3.5	16.4	11.5	0.0	0.9	5.8
地区別	旧市内地区	369	5.7	19.0	30.1	2.4	4.9	4.9	20.9	7.9	1.4	0.5	2.4
	北上地区	299	6.7	11.4	36.8	1.7	5.0	5.7	18.7	5.4	2.3	0.7	5.7
	錦田地区	249	4.8	10.4	39.8	2.0	4.0	6.0	19.3	9.2	0.8	0.8	2.8
	中郷地区	260	6.9	12.7	36.5	1.5	5.4	5.0	14.6	11.2	1.5	1.2	3.5

■ : 1位 ■ : 2位 ■ : 3位

性別

男性、女性とも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多いが、女性（39.7%）が男性（29.5%）を10.2ポイント上回っており、男女間で意識に差が見られた。

年代別

いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」への回答が最も多いなかで、割合が最も高い60代（39.3%）と最も低い20代（29.7%）では9.6ポイントの差がみられた。また、「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」では、30代（6.2%）で1割未満と他の年代の1割台と比べて差が見られた。

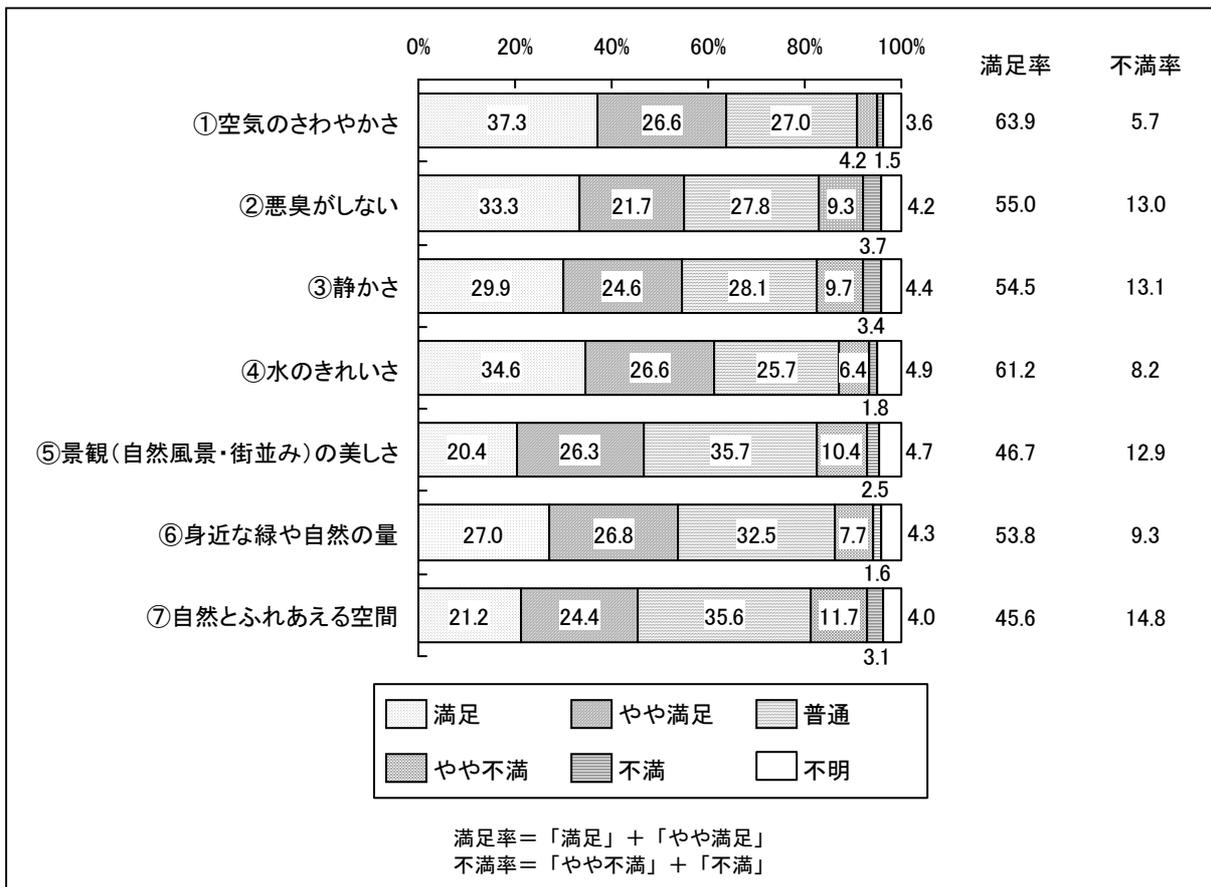
地区別

いずれの地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多く3割以上を占めた。また、「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」では、旧市内地区（19.0%）の割合が他の地区と比べて高く、2割近いものであった。

(4) 生活環境の満足度

問4 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。項目ごとに該当する番号を選んでください。 **1つに○**

「空気のさわやかさ」と「水のきれいさ」の満足率が6割以上

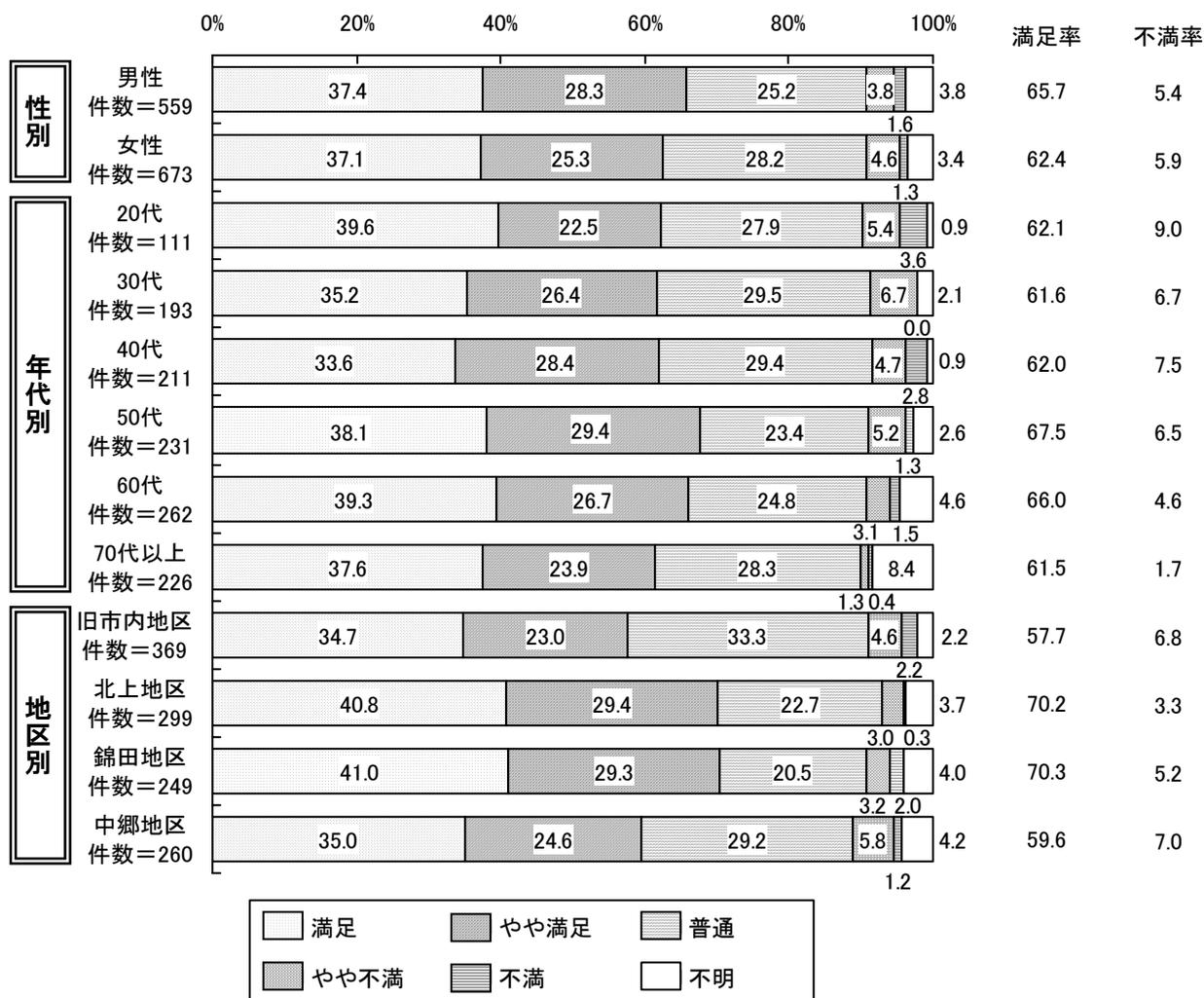


いずれの項目でも“満足率”が“不満率”を上回っている。“満足率”は「空気のさわやかさ」(63.9%)が最も高く、次いで「水のきれいさ」(61.2%)と、これらが6割以上の回答を得た項目である。一方、“満足率”が5割に満たなかった項目は、「自然とふれあえる空間」(45.6%)及び「景観(自然風景・街並み)の美しさ」(46.7%)であった。

“不満率”が1割以上であった項目は、「自然とふれあえる空間」(14.8%)、「静かさ」(13.1%)、「悪臭がしない」(13.0%)及び「景観(自然風景・街並み)の美しさ」(12.9%)であった。

属性別

①空気のさわやかさ



性別

“満足率”は、男性（65.7%）、女性（62.4%）で大きな差は見られない。

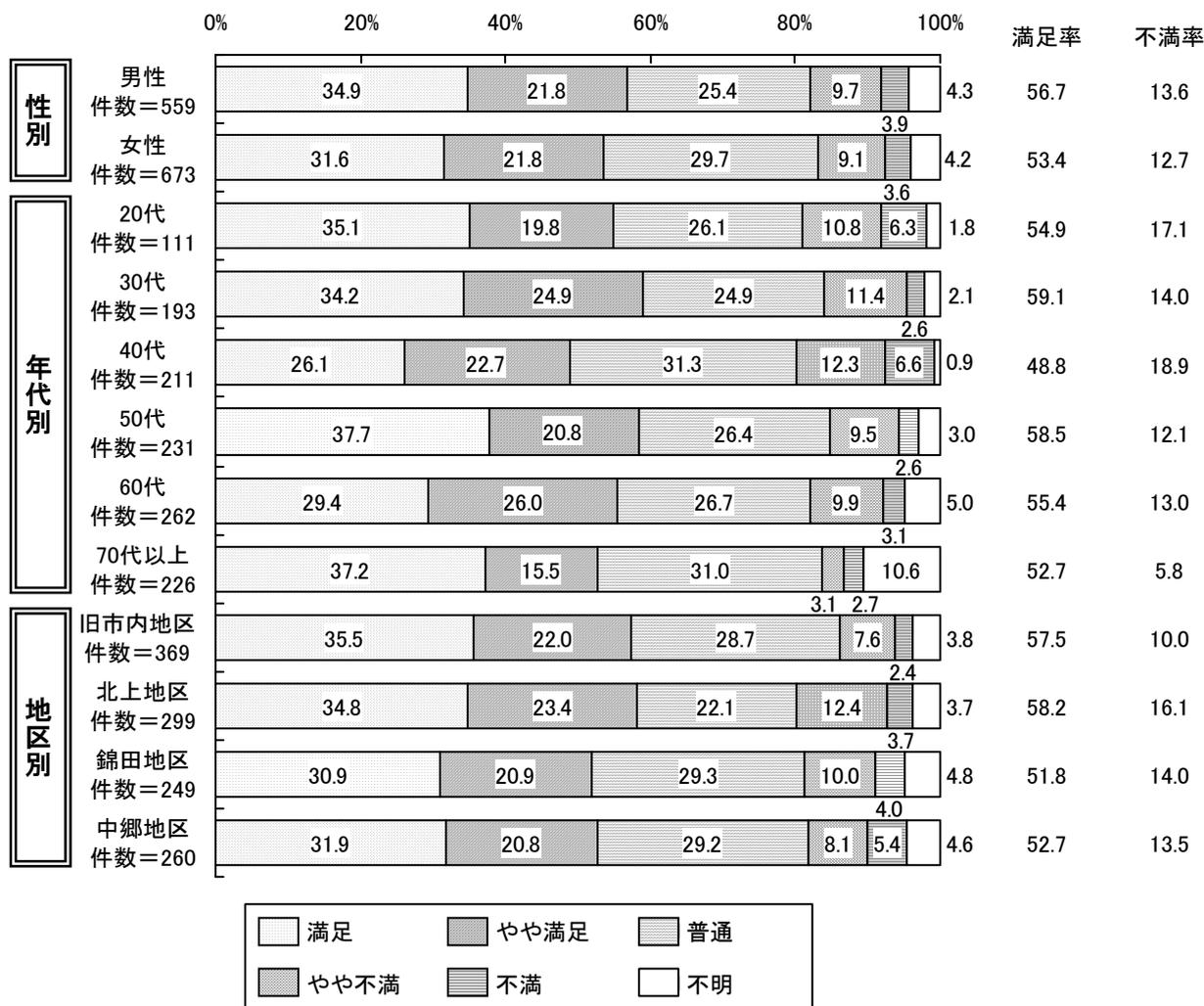
年代別

“満足率”が最も高いのは50代（67.5%）、次いで60代（66.0%）である。いずれの年代も“満足率”が6割台と高く、大きな差はみられない。

地区別

“満足率”は錦田地区（70.3%）で最も高く、次いで北上地区（70.2%）とこれらがそれぞれ7割以上であった。旧市内地区（57.7%）及び中郷地区（59.6%）での“満足率”は5割台にとどまった。

②悪臭がしない



性別

“満足率”は、男性（56.7%）、女性（53.4%）で大きな差は見られない。

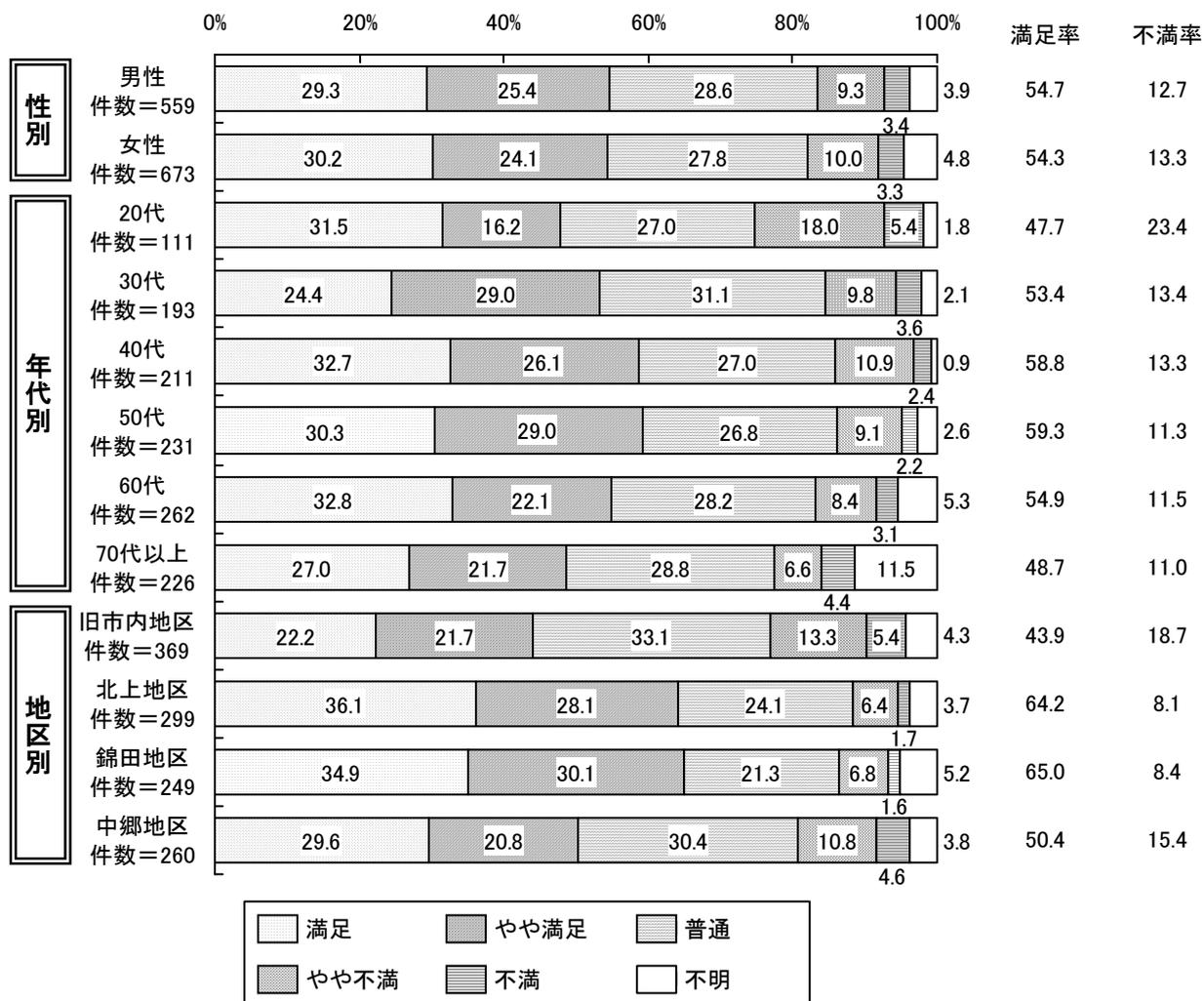
年代別

“満足率”が最も高いのは30代（59.1%）、次いで50代（58.5%）である。一方、“満足率”が4割台にとどまったのは、40代（48.8%）で、30代と10.3ポイントの差が見られた。

地区別

“満足率”が最も高かったのは北上地区（58.2%）、次いで旧市内地区（57.5%）、中郷地区（52.7%）と続き、最も低かったのは錦田地区（51.8%）であった。

③静かさ

**性別**

“満足率”は、男性（54.7%）、女性（54.3%）でほとんど差は見られない。

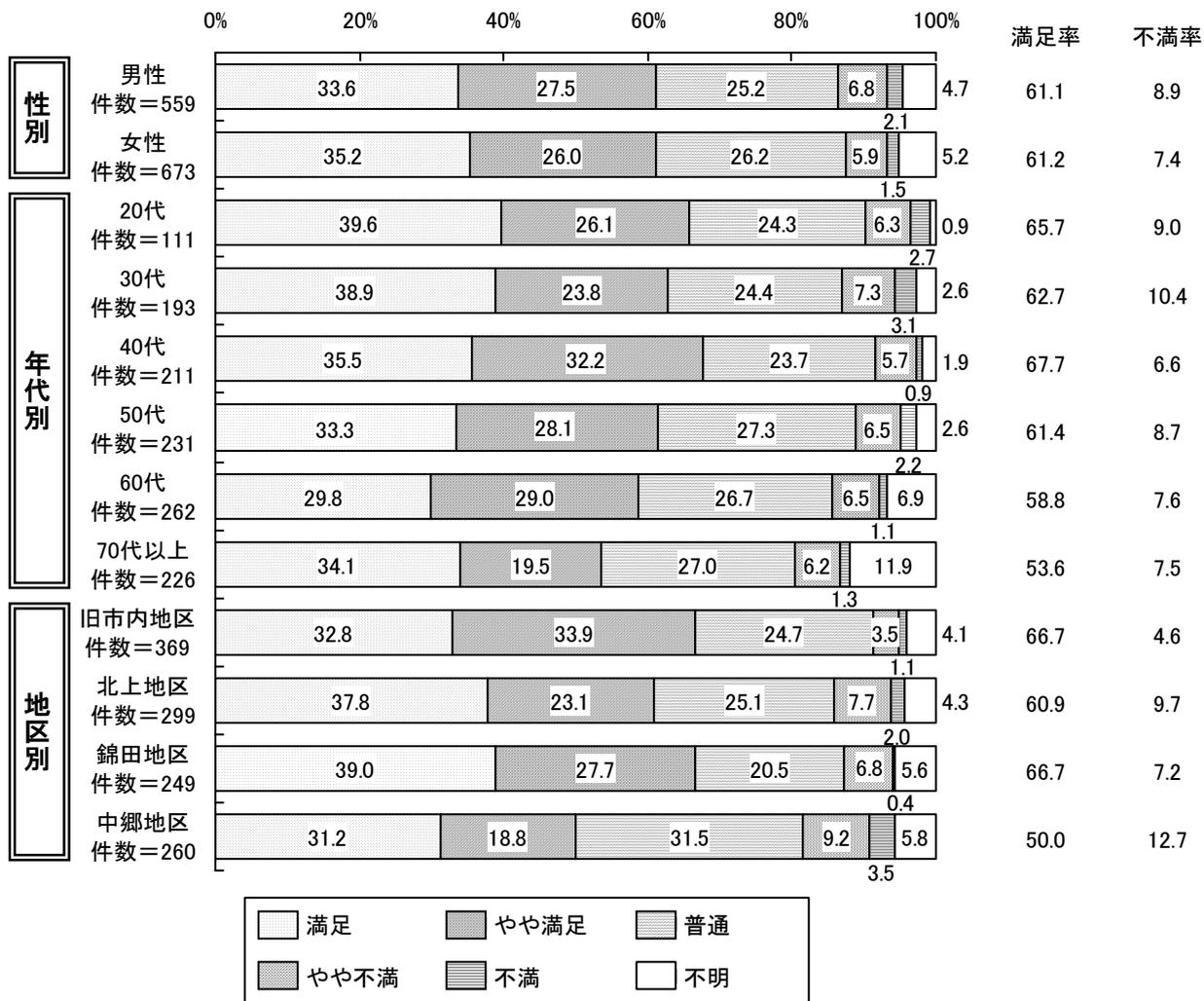
年代別

“満足率”が最も高いのは50代（59.3%）、次いで40代（58.8%）である。一方、“満足率”が4割台にとどまったのは、20代（47.7%）及び70代以上（48.7%）であった。

地区別

“満足率”は錦田地区（65.0%）で最も高く、次いで北上地区（64.2%）とこれらが6割以上の回答であった。中郷地区（50.4%）は5割台、旧市内地区（43.9%）は4割台と、“満足率”では地区による差が見られた。

④水のきれいさ



性別

“満足率”は、男性（61.1%）、女性（61.2%）でほとんど差は見られない。

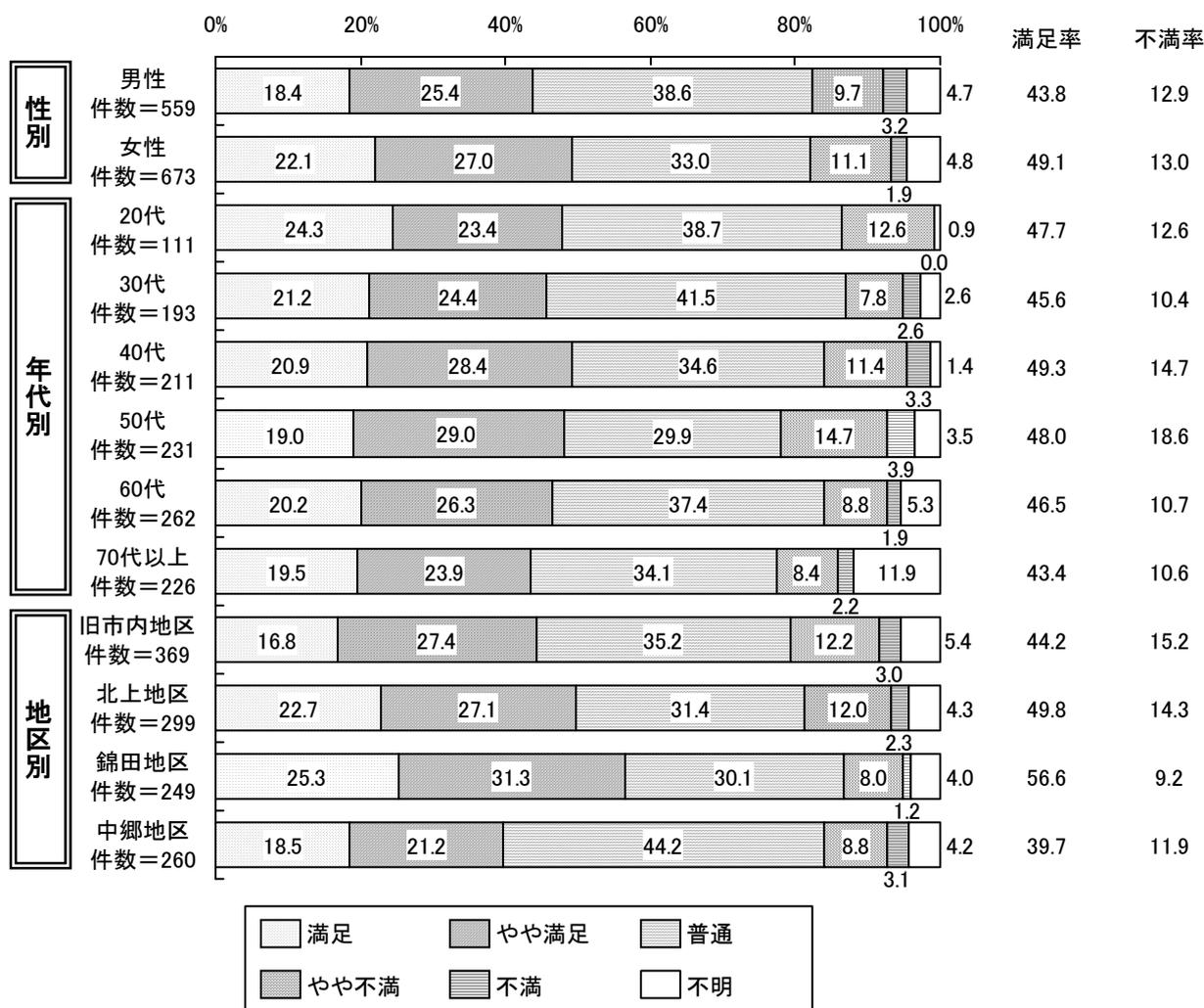
年代別

“満足率”が最も高いのは40代（67.7%）、次いで20代（65.7%）である。一方、“満足率”が5割台にとどまったのは、70代以上（53.6%）及び60代（58.8%）であり、年代が高いほど“満足率”が低い傾向が見られた。

地区別

“満足率”は旧市内地区（66.7%）及び錦田地区（66.7%）で最も高く、次いで北上地区（60.9%）と続き、中郷地区（50.0%）が最も低く5割と、地区による差が見られた。

⑤景観（自然風景・街並み）の美しさ

**性別**

“満足率”は、女性（49.1%）が男性（43.8%）を5.3ポイント上回り、わずかな差が見られた。

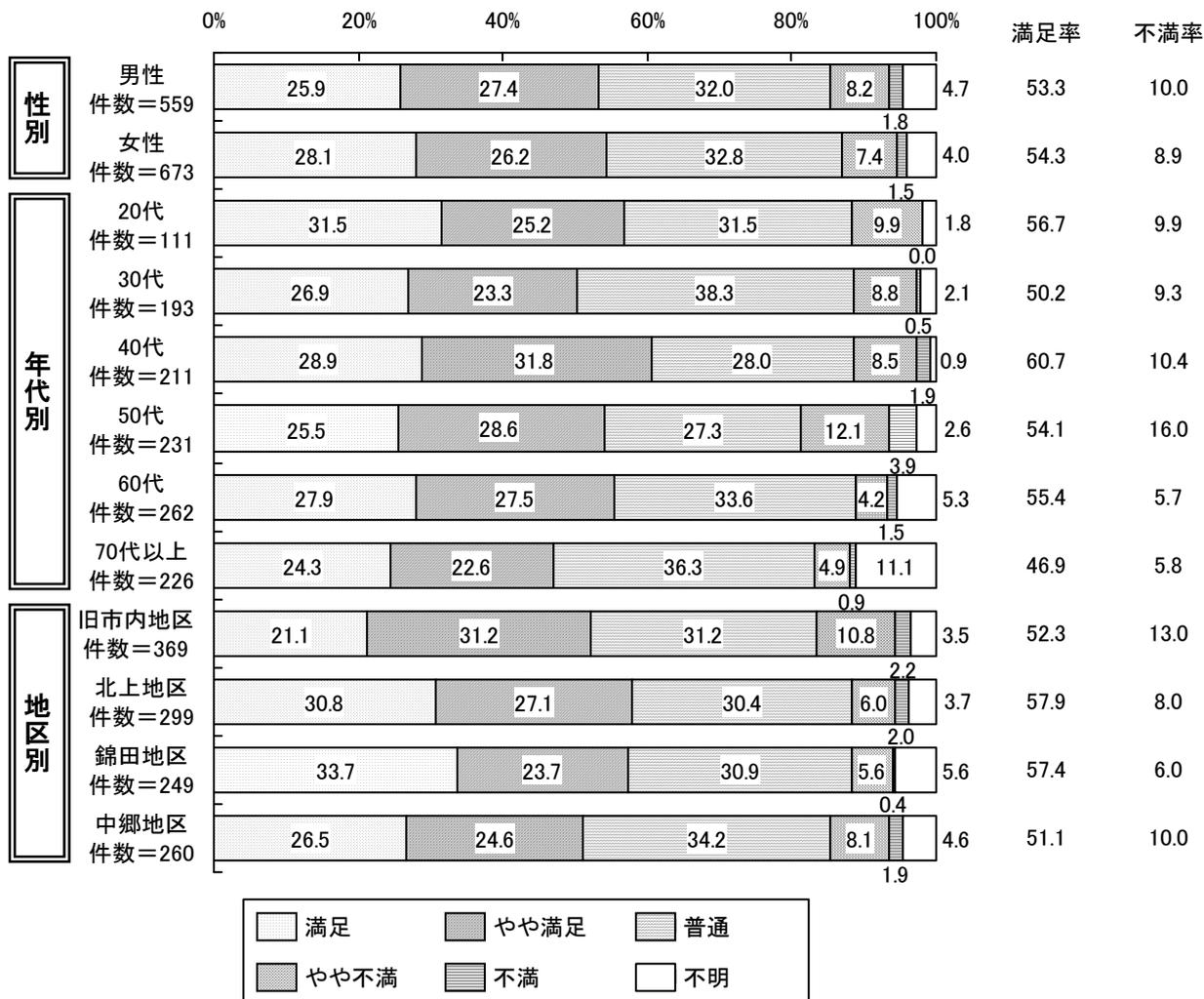
年代別

“満足率”が最も高いのは40代（49.3%）、次いで50代（48.0%）である。いずれの年代も“満足率”が4割台となっており、大きな差はみられない。

地区別

“満足率”が最も高いのは錦田地区（56.6%）、次いで高いのは北上地区（49.8%）、旧市内地区（44.2%）とこれらが4割以上の回答であった。一方、中郷地区（39.7%）が最も低く、3割台であった。

⑥身近な緑や自然の量



性別

“満足率”は、男性（53.3%）、女性（54.3%）でほとんど差は見られない。

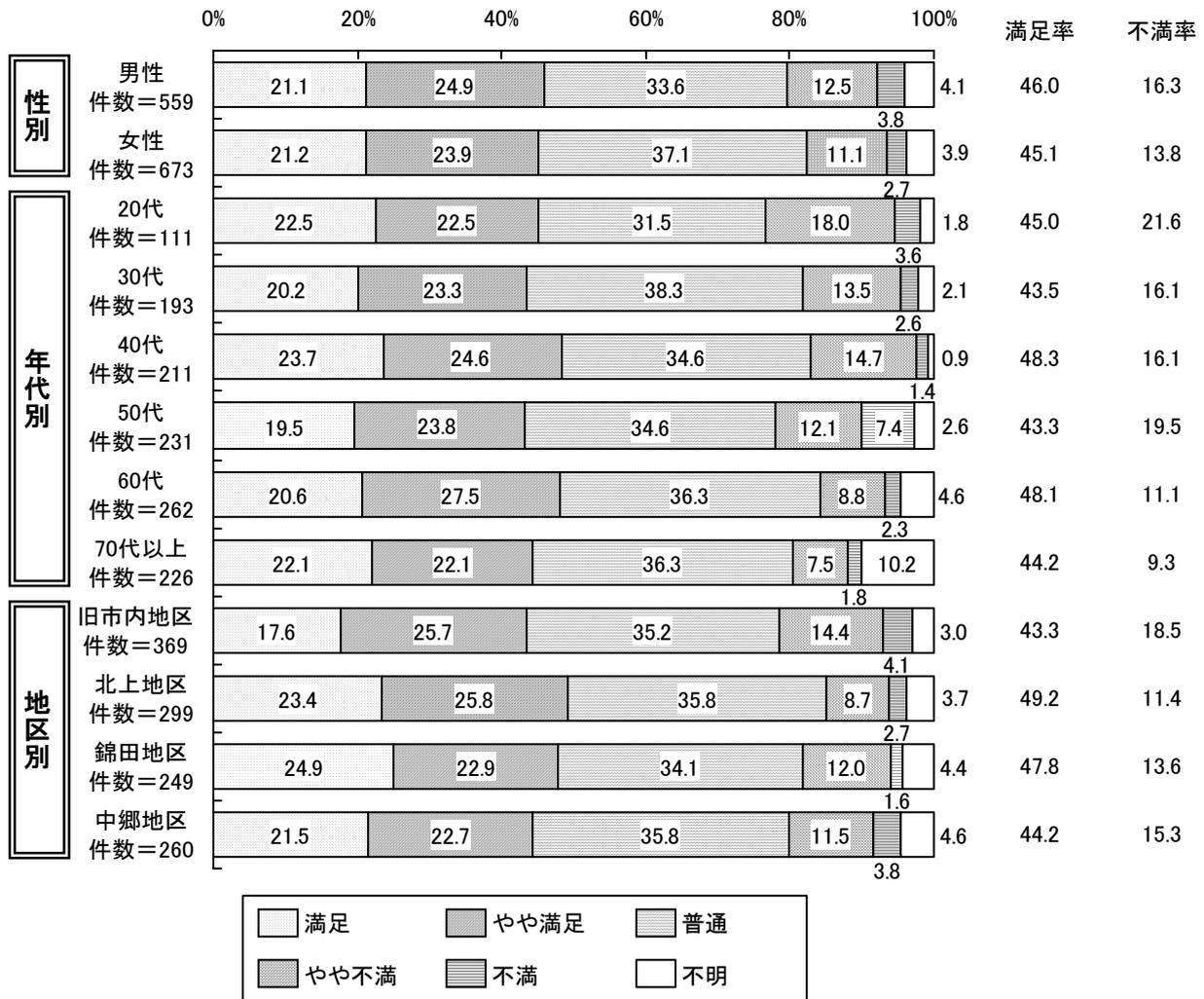
年代別

“満足率”が最も高いのは40代（60.7%）、次いで20代（56.7%）である。一方、“満足率”が4割台にとどまったのは70代以上（46.9%）で、40代と13.8ポイントの差が見られた。

地区別

“満足率”が最も高いのは北上地区（57.9%）、次いで錦田地区（57.4%）、旧市内地区（52.3%）、中郷地区（51.1%）と続き、いずれの地区も5割台と差は見られなかった。

⑦自然とふれあえる空間

**性別**

“満足率”は、男性（46.0%）、女性（45.1%）でほとんど差は見られない。

年代別

“満足率”が最も高いのは40代（48.3%）、次いで60代（48.1%）である。いずれの年代も“満足率”が4割台となっており、大きな差はみられない。

地区別

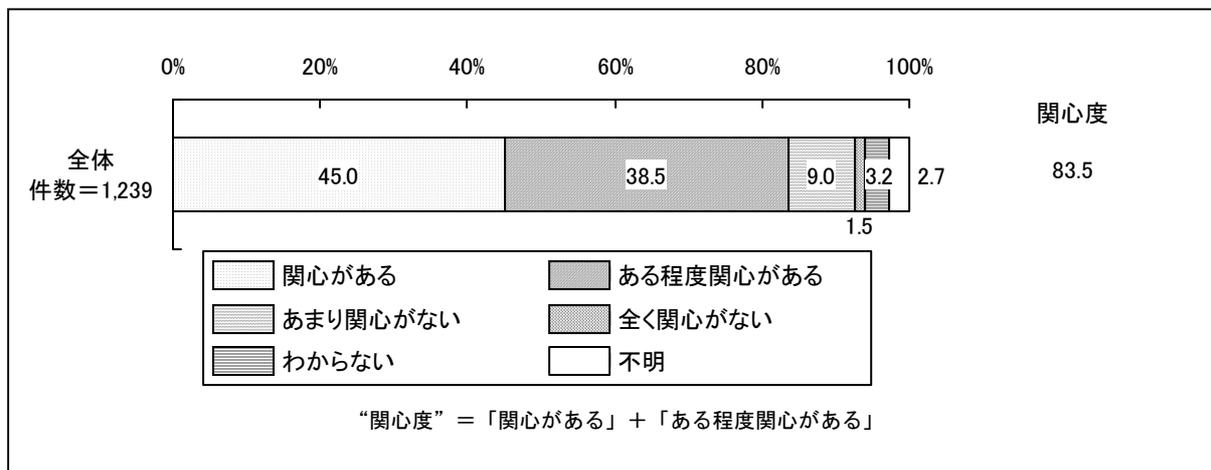
“満足率”が最も高いのは北上地区（49.2%）、次いで錦田地区（47.8%）、中郷地区（44.2%）、旧市内地区（43.3%）と続き、いずれの地区も4割台と大きな差は見られない。

(5) 「食育」への関心度

問5 あなたは「食育」に関心がありますか。

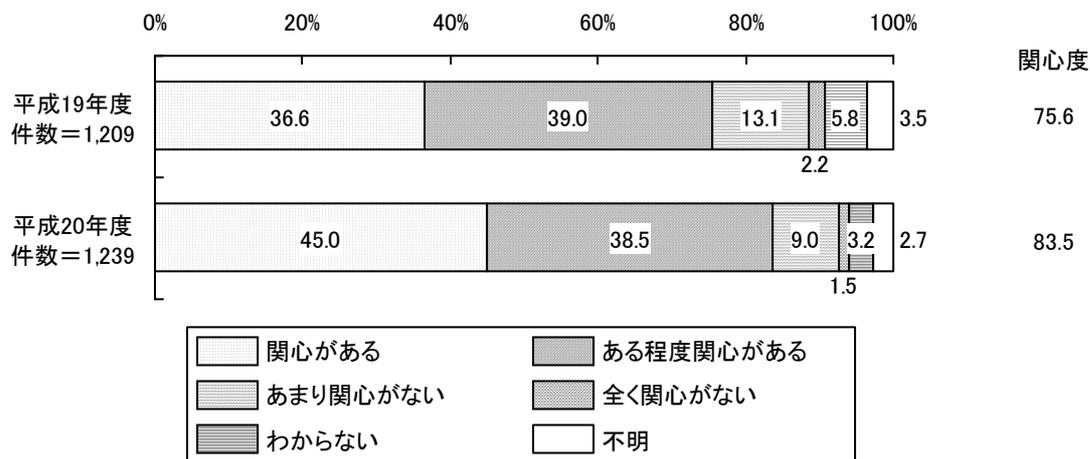
1つに○

“関心度”は83.5%

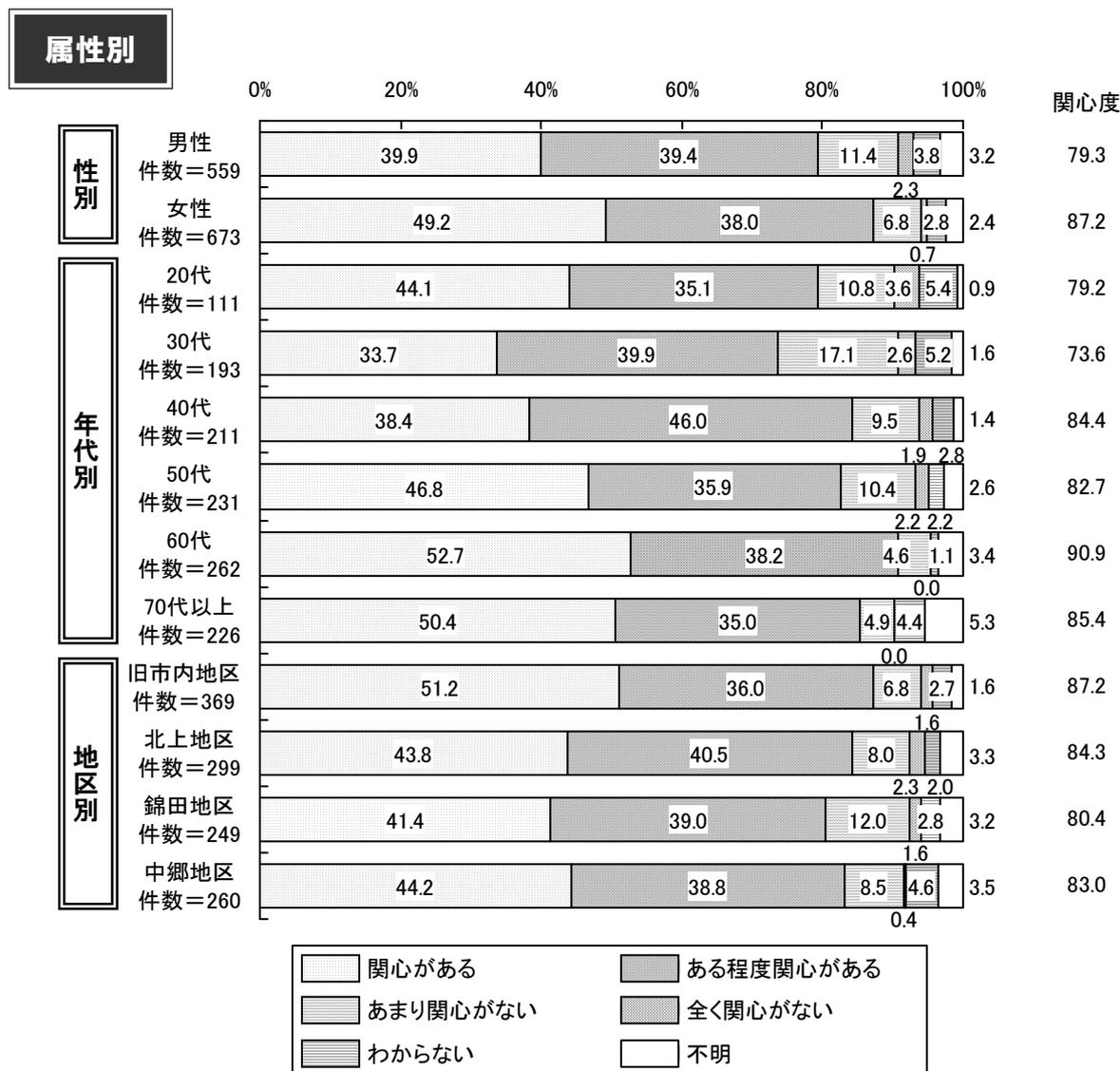


食育への関心について聞いたところ、最も多かったのは「関心がある」(45.0%)、次いで多かったのは「ある程度関心がある」(38.5%)であり、これらを合わせた“関心度”(83.5%)が8割以上を占めた。一方、「あまり関心がない」(9.0%)及び「まったく関心がない」(1.5%)はいずれも1割以下であった。

時系列比較



“関心度”(83.5%)は、前回調査(75.6%)に比べ、7.9ポイント増加した。また、前回調査では「ある程度関心がある」(39.0%)が「関心がある」(36.6%)を上回っていたが、今回調査では「関心がある」(45.0%)が「ある程度関心がある」(38.5%)を上回っていることから、食育への意識が高まっているといえる。



性別

“関心度”は女性（87.2%）が男性（79.3%）を上回っていた。「ある程度関心がある」では男性（39.4%）と女性（38.0%）に大きな差は見られないものの、「興味がある」では女性（49.2%）が男性（39.9%）を上回っている。一方、「あまり関心がない」では男性（11.4%）が1割以上であるのに対し、女性（6.8%）の割合は1割を下回った。

年代別

“関心度”が最も高いのは60代（90.9%）で、唯一9割を占めた。次いで、70代以上（85.4%）、40代（84.4%）、50代（82.7%）の順で回答が多く、これらはいずれも8割以上を占めた。一方、20代（79.2%）、30代（73.6%）で他の年代に比べ割合が低く、7割台にとどまっている。「関心がある」では、20代（44.1%）を除き、概ね年代が高いほど割合も高い傾向が見られる（30代：33.7%、40代：38.4%、50代：46.8%、60代：52.7%、70代以上：50.4%）。

地区別

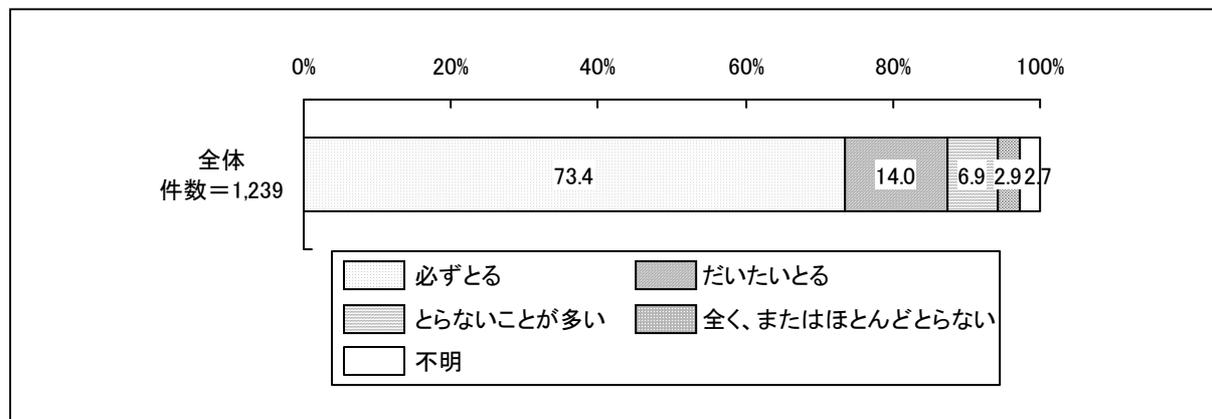
“関心度”が最も高いのは旧市内地区（87.2%）、次いで北上地区（84.3%）、中郷地区（83.0%）、錦田地区（80.4%）となっている。

(6) 朝食について

問6 あなたは「朝食」をとっていますか。

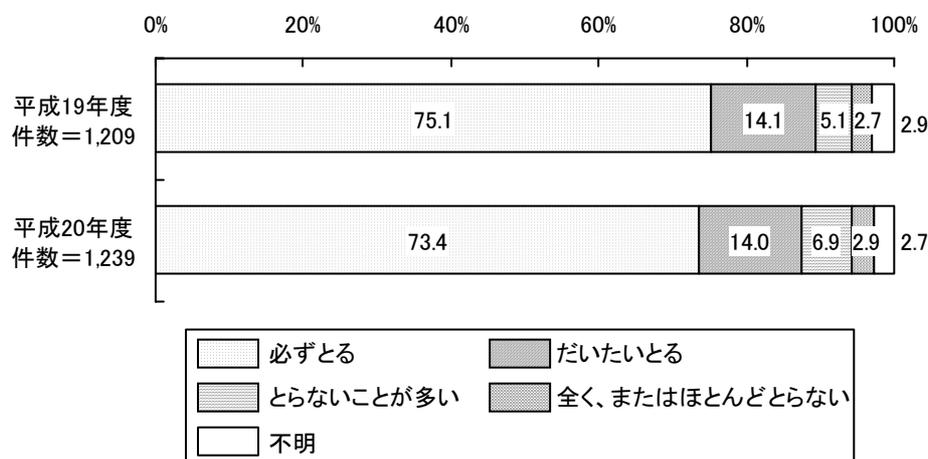
1つに○

朝食を「必ずとる」が73.4%

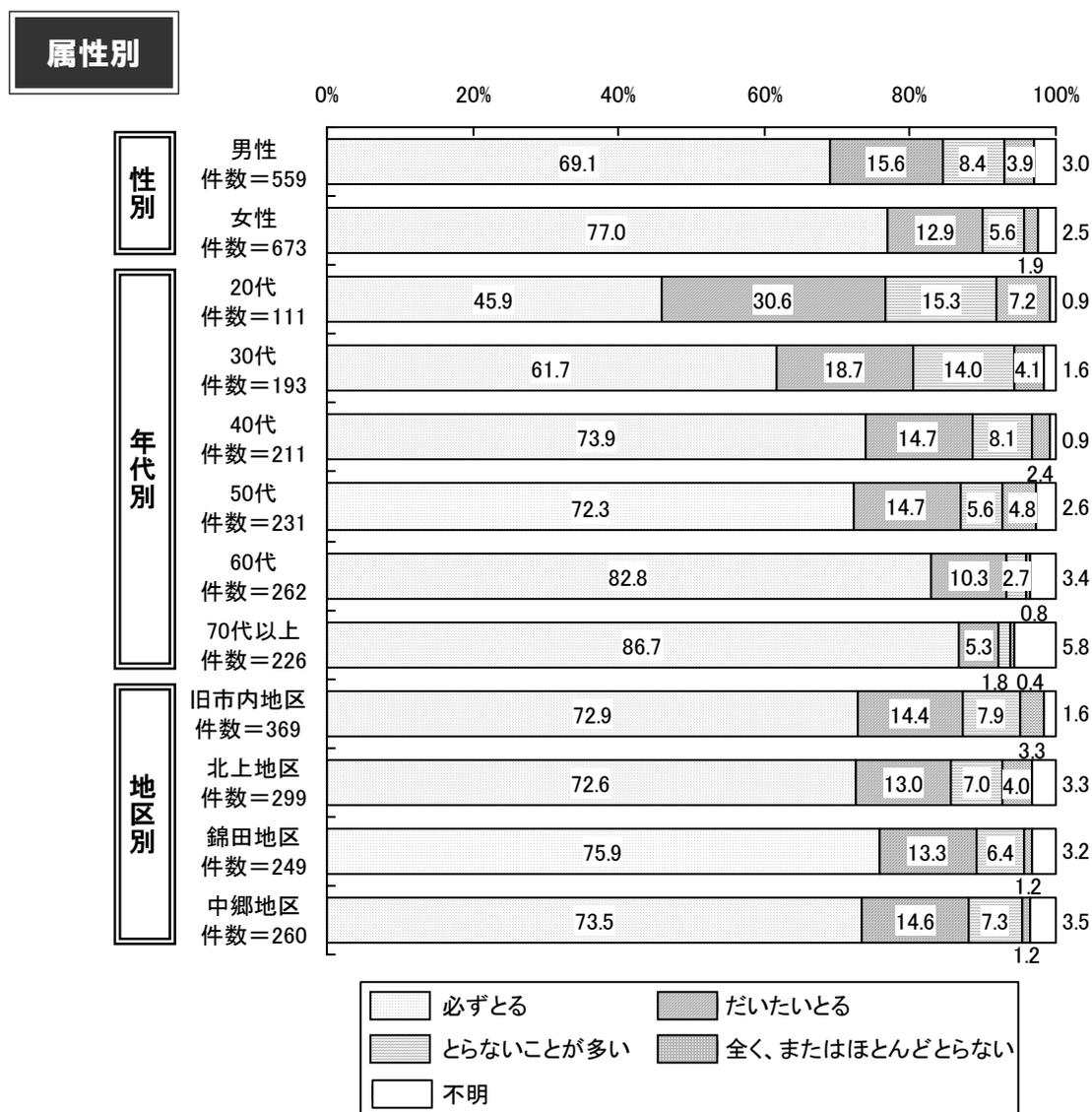


朝食について聞いたところ、「必ずとる」(73.4%)が最も多く、次いで多い「だいたいとる」(14.0%)と合わせると、朝食をとる人の割合は87.4%と8割以上を占めた。一方、「とらないことが多い」(6.9%)及び「全く、またはほとんどとらない」(2.9%)への回答は合わせても1割未満であった。

時系列比較



朝食を「必ずとる」(73.4%)を前回調査(75.1%)と比較すると、わずかに減少したものの、大きな差は見られない。また、「だいたいとる」(14.0%)と合わせた、朝食をとる人の割合にも大きな差は見られなかった。

**性別**

朝食を「必ずとる」割合は男性（69.1%）が6割台であるのに対し、女性（77.0%）が7割台と、男女による差が見られた。

年代別

朝食を「必ずとる」割合は概ね年代が上がるほど高く（20代：45.9%、30代：61.7%、40代：73.9%、50代：72.3%、60代：82.8%、70代以上：86.7%）、20代と70代以上では、40.8ポイントの大きな差が見られた。

地区別

朝食を「必ずとる」割合は錦田地区（75.9%）、中郷地区（73.5%）、旧市内地区（72.9%）、北上地区（72.6%）の順で多かったものの、地区による大きな差は見られない。